

年間指導計画

教科 保健体育		科目 保健		履修対象年次 2年	単位数 1
科目担当者 神田道夫 森田理子 君島達也					
身に付けられる力		個人及び社会における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学期	4	2	1. 生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 生涯にわたる健康づくり	思春期に体と心の両面が大きく変化する。その変化とともに起こる健康課題についての理解力。 異性との人間関係に配慮し、実践できる行動力。 健康な結婚生活を送るために必要なことを理解する力。 健康な妊娠・出産期を過ごすために本人や周囲が配慮すること、また望まない妊娠をしたときに行動すべきことを理解する力。 年齢にともなう健康問題を理解し、健やかな中高年期を送るための工夫する力を身につける
	5	4			
	6	4			
	7	2			
	8				
2 学期	9	3	2. 生涯を通じる健康 3. 社会生活と健康	保健制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動と対策 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策 過去の公害から学ぶ環境問題	病気の予防や健康の保持増進のためにあるさまざまな制度を理解する力 医療制度の特徴を理解する力 医薬品を正しく使用する実践力 地球規模で起こっている環境問題、身近で起こっている健康問題に対する理解力
	10	4			
	11	4			
	12	3			
3 学期	1	3	3. 社会生活と健康	環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保健と私たち 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	環境衛生活動の仕組みと働きを理解する力 安全な食品と健康被害の危険性を見極める力 労働災害の対策や余暇を活用する力
	2	4			
	3	2			
合計時数		35			
教科書 副教材		大修館書店「現代保健体育」			
評価の観点・方法		①定期考査点 ②出席点と授業への取り組み状況 以上を総合的に評価する。			
履修上の注意点		必修科目である。			
特記事項等		なし			